



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

勝浦ロータリークラブ 49期 THE WEEKLY REPORTS

2011-2012年度
No. 24 / Total 2320
例会：2012年3月2日
発行：2012年3月9日

RI会長 カルヤン・パネルジー

第2790地区ガバナー

山田 修平

第5分区ガバナー補佐

釜田 英之

第5分区幹事

池田 哲夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 関 一憲

クラブ研修委員会

勝浦RC 齋藤 豊久

クラブ社会奉仕委員会

鋸南RC 三橋 美子

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長 関 正己

幹事 漆原 摂子

クラブ会報委員長 渡邊 昌俊
副委員長 齋藤 麻美子
委員 石井 美香子
渡邊 ヒロ子

◆3月9日（金）のプログラム

ゲスト卓話

◆3月の例会予定

16日（金）会員卓話

・浅野玄航君

23日（金）ゲスト卓話

30日（金）休会

●会長挨拶 関正己会長



こんにちは。3月3日桃の節句を迎え勝浦の市内もビッグ雛祭りです。明日、私も仕事がお休みなので、見物に行ってみようと思います。49期、勝浦R・Cも早8カ月が過ぎ、ラスト4カ月となりました。色々委員長さんには無理を言ってチェンジメーカー賞をめざしカリキュラムをこなすようお願いしてきましたが、どうしても国際奉仕部門においてハードルが高くクリア出来そうにありません、今幹事の漆原さんが懸命にまとめてくれています、結果は地区の判断がどう出るか不明です。もとより、チェンジメーカー賞はクラブの指揮の高揚に本来の意義があると思っていましたので、結果はパーフェクトでなくても仕方がないと考えていました。しかしながら、理事、委員長、会員の皆さんの努力により今一步のところまで近づきました。このことは大変意義深い事と思ひ敬意を表したいと思います。会員の皆様本当にありがとうございます。

本クラブは会員数も中堅クラスを占め、人材も豊富、会長の役目は2度めぐる事はないでしょう。また、そうでなくてははいけないと思います。

其の為にも悔いの無い1年にしたいと思います、なかなか思うようには行きませんが。このことは歴代会長経験者のだれしもが感じてきた事だと思いますが・・・。余すところ4カ月、引き続きご協力お願いいたします。

追伸、待望の勝浦R・Cポスターが渡辺ヒロ子会員のご協力により出来上がりました。これを基にロータリー永遠のテーマであります会員増強の一助になれば幸いです。勝浦R・Cをもっと宣伝いたしましょう。

●幹事報告 漆原摂子幹事

1. 鴨川RCより 例会変更のお知らせ

3/20（火）休会

3/27（火）会場を鴨川ユニバースホテルに変更

●委員会報告

◆社会奉仕委員会 牧野利美担当理事



3月4日、恒例の官軍塚に集合して、桜を見ながらゴミを拾い、着いたらお弁当ということになっているのですが、天気予報が良かったり悪かったりで、今日見たら昼から雨が降るということでした。こういう状態ですが、いつも6時30分にお集まりいただいているとのことで、雨は降らないということですのでよろしくお願い致します。

●ニコニコBOX

○本人誕生日

◆中村昇君



先日、3月1日6時15分で、私がちょうど64歳の誕生日を迎えました。そしてその夜に大吟醸で7名の方にお祝いしていただきました。なんとか元気に迎えられまして、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

○自主申告

◆中村昇君

2月13日のIMの件ですけれども、あの時は多くの方々から、実行委員長をはじめガバナー補佐、そして企画が素晴らしいと、また会場が素晴らしいということ褒められまして、田楽さんのお話、また大家さんなどのお話、みなさん涙をこぼしながら聞いていたというようなことで、千倉ロータリークラブの次期会長になる女性の方ですが、この話の内容が、聞きが良いということで

だいぶ酔ってらっしゃいました。そこで私と意気投合しまして、あなたはどこの誰だという話になりまして、私は「勝浦の中村だ」と言いましたら「気に入った」という風に言われまして、勝浦に自主申告ということで最初5千円出したのですが引っ込められてしまい千円になりましたが、千円いただいてまいりました。そしてもう一人、勝浦高校の校長先生上がりだということで、千倉ロータリーの方でございまして、その方からは5千円いただきました。そして今日は、この間の実行委員の皆さんがとても良く、そしてブルーベリーヒルの料理が素晴らしいということで、私からも1万円納めさせていただきます。

◆西川佳璋君



皆さんのお手元にある「ロータリーの友」、どちらが表紙かわかりませんが桜が写っております。私どもの総本山、身延山久遠寺のしだれ桜でございます。桜が咲いている時期は、身延山の駅から久遠寺の間、道路が渋滞して、1時間くらい歩かないと境内までたどり着けないという、賑わいの桜でございます。観光バスだと近くまで行けるそうですが、乗用車の場合はなかなか近くまで行くことができません。中の方の説明文に私どもの宗祖、日蓮のことが少し紹介されておりますのでご覧ください。

それからもうひとつ、皆さん方もご存知のとおり街中でひな祭りが開催されております。先日テレビ朝日がまいりまして、中継車を止めさせていただきますということで高僧に来て、今日も来て、3月3日朝6:30~放送のテレビ朝日の「城島茂のここ朝一番」という番組があるのですが、この番組で時間内ほぼ全般、散りばめるかもわかりませんが、1時間半の番組に出るそうでございます。生放送です。

そういうことで、私が出かける前に駐車場の交渉を

されまして、また「境内の中にケーブルを引いてもいいか」と聞かれましたが、「どうぞ、結構ですから勝浦市を全国に十分PRしてください」ということでOKを出しました。出てくる前にその番組の録画の予約を入れてまいりましたので、皆さんもぜひ録画など対応していただきまして、楽しくご覧になっていただければと思います。

◆水野敬泰君



一週遅れで申し訳ないのですが、IMのことでございます。円楽師匠の色紙を私も頂戴しまして、私の一字、「天下泰平」の「泰」の字だけ書いてありまして、多分私自身があまり知らないのですが、その字にいろいろな意味があつて、そういうことを入れてくれたんだと思います。同時に、私何回かリハーサルのようなものに行った時には、円楽自身の問題にも関わらず、マネージャーから来ている文章で円楽の人間像というのをなんとなく頭に入れてしまったというのがありました。実は、そんな人じゃないだろうなと思いつつも、やはり文字というのは恐ろしいもので、頭にそういうイメージが入ってしまいました。ところがその後、楽屋に行ったという牧野さんのお話は、本番の話、それとサインがみんな一人ひとり違うものですから、そういう事をされると、円楽にますます惚れてしまったというような事もあり、IMの良い機会だったなと思います。

◆西尾誠君

私も円楽さんという人とはあまりご縁がなくて、テレビで見る程度であったのですが、意外に真面目な人だなあ、というのが私の感想です。ああいう人は、どこかでダジャレでも言うのかと思っていました。私の色紙にはちゃんとしたことが書いてあつて、「梅は咲いたか、桜はまだかいな」ということでした。その円楽さん、水野さんは惚れてしまったと言いましたが、私はまあちょっと見直したなというところですよ。

◆牧野利美君

IMの実行委員長にいろいろ配慮していただいて、「副」という名前をつけていただいたのですが、やることはお開きの時だけお話させていただいて、あれ以来お開きがいっぱいありました。水野さんがお話されたように、円楽師匠は迎えに行った時も自ら運転してみえまして、まさか運転手だとは思わなかったのが後ろの席をずっと探していたのです。小さい女の子のマネージャーを連れてきて、「このやろう、女なんか連れてきやがって」と思っていましたら師匠が運転してしまつて、その後なかなか出てこないと思ったら、もう次に帰る時のナビをセットしていたのです。それから車から降りて、「いやあ、古い車だからね。なかなか上手くいかなくて」というお話と、終わったらすぐ両国で一席あるらしいというお話を聞いたのですが、皆さんがおっしゃる通りに、本当に気さくな人で、スーツ姿がそういう風に見せたのかもしれませんが、日頃の落語家の時の格好とは違い、そういうのを直面して見ると、すごく身近に感じたのと、フリーで話をされるから慣れてらっしゃるんでしょうけど、時間内に話をされるというのはやはりプロだなと思いました。そして控え室というのはブルーベリーさんの応接のところで、1時間以上前にお見えになったので、ちょっと困ったなという風に思っていましたら、「良いんだよ、良いんだよ」という風に言っていました、その後に行ったら床の上に色紙を並べて、ひとつひとつ書いていたのです。文もちゃんと考えてきていたということで、そういうところはさすが、すごいなと思い、勉強されました。

●クラブフォーラム

◆プログラム委員長 高梨薫敏君



今日は3月の第1週ということで、会長の初心通りにクラブフォーラムということで行いたいと思います。会長挨拶がありませんが、あともう4ヶ月しかない、まだ4ヶ月もある、どう考えるかではありますが、50周年の実行委員会としては、もう本当に日が迫っているなという風に、気持ちは焦っています。実行委員長はさらに焦っているんじゃないかと思います。少し、実行委員長の考えがまとまりつつあるようですので、最初に実行委員長の経過報告等をお聞きして、それから皆さんのご意見もお聞きしたいと思います。

◆水野敬泰君

今、プログラム委員長であり実行副委員長である高梨さんの方からお話がありました。皆さん、去る1月18日に100万円が東日本大震災被災者支援委員会、会長が織田ファストガバナーでございますが、そこに振り込まれたという事はご存知ですよ。それについて、なぜ100万円というのが来たかと言いますと、12月の織田ファストガバナーの義捐金の中間報告があったわけです。その中に今申しました口座の中に535万円が残っておりますと、ぜひ皆さまにはクラブが自主的に被災クラブを支えてくださいますようお願い致します、ということで資金が535万円残っていると、こうガバナー月信に載っていたのであります。早速、私が山田ガバナーの事務所へ連絡したところ、それに対する書式というのがありますということで私の方へ送って頂きました。それが12月15日でございます。実は実行委員長をやれと言われていたので腹案をある程度持っていました。その腹案というのは、実は高梨さんとともに持っていたわけですが、やはり東日本大震災、そして那智勝浦の水害、この両方を避けて通ることはできないであろうと、それは50周年という年度に、なんらかの対応をしていかなければならないと、こういうことだけは、合意をいたしておりました。

そういうことを持って、12月20日にその腹案を出しましたところ、その時はまだ私自身の自己流でありましたので期待は全く持っておりませんでしたけれども、一応、明けました1月17日に織田ファストガバナーより直接私の方に電話があり、ぜひ実行してくれと、こういう言葉がありまして幹事の方からガバナー事務所に連絡していただきまして、私どもの口座に振り込んでいただいたと、こういう経過でございました。大変素晴らしいことなのですが、クラブとしては重い責任と義務を背負ったわけでございますが、今後、皆さまと協力しながらやっていかなければならないなと思います。しかし、50周年という集大成として、また新たなる50年を目指す、その中で、みんなで頑張っていきたいなと、こういう形でございます。では、その腹案とは何だったのかというのを若干皆さまに述べたいと思います。これは「義援金を活用したクラブの取り組み案」という形がございまして、それを書きなさいよという例が出てくるのです。まず1番目といたしまして、「皆さまのクラブでは義援金を活用するとした場合、大震災で被災された地区内の人々に今後どのような支援活動をお考えですか？できるだけ具体的にお書きください」という問いです。腹案といたしましては、勝浦ロータリークラブ創立50周年記念式典、関係資料事前打ち合わせ会議等をできるだけ創意工夫し経費節減につとめ、被災地の震災遺児に励ましと、苦しみを分かち合えるような友達を作る機会を与えたい。具体的には震災遺児、その時の考えとしましては中学生20~30名を勝浦に招待、勝浦の中学生と寝食を共にし、友好関係を築き、末長い友情と信頼の交流をはかる目的とする、と書いたわけです。2番目に「その活動は、他のクラブ、地区内外を問わず、共同で行うものですか？」というのがありました。そこで被災地のひとつ、気仙沼ロータリークラブ、勝浦とは水産業で密接な関係があること、第252地区内の震災遺児を対象として協力していただき、偉業展開をしたい。なお、先方とは何の連絡も、ロータリアン同士の知り合いもおりません。今後、資金の調達等を考え折衝する予定です、という事です。3番目といたしまして、「その活動のために必要な資金の額、概算でご記入ください。」ということで、その時に考えた予算は200万円、と書いたわけでありまして、「そのうち、クラブで負担する金額は？」という風になりまして、半分の100万円をクラブで負担し

ますということでやりました。補足説明といたしましては、創立記念積立金を充当して事業展開を考えておりますと、したがって、「次年度以降何年間は」の問いには答えが出ておりません。この「答えが出ておりません」の意味合いは、総予算 200 万円で、うちクラブが負担できるのが 100 万円、そして「次年度以降、毎年何円を何年間続けられるか」という問いがあったわけであり、したがって、その問いには答えが出ておりませんということ、原資となるものが創立記念の積立金を充当するために、そういうことが何年間ということではできませんよという意味合いであります。そして事業としては何をやるかということを書けという形になっております。震災遺児と勝浦市内の中学生との交流、これが1点です。もうひとつは、渡邊ヒロ子さんがおりますけれども、勝浦アンサンブル同好会1万人チャリティーコンサートと共済をしていきます。これは中村会員が主催し、被災地も見て1年発起、義援金を全て公共性の高いところに楽器を贈呈予定。勝浦市教育委員会、勝浦ロータリークラブの後援で継続してまいります。マスコミにも何誌も取り上げていただいております。あともう1点は、勝浦市民の皆さまにもご協力をいただき、被災地（気仙沼）より、マグロを購入し、解体ショーを行うという事を検討してみたいという形でもってお話させていただきました。今言いました事は、今年の夏休み後半を予定したいという事であり、けれども、これにつきましては、気仙沼ロータリークラブと勝浦ロータリークラブとの接点の中で、気仙沼ロータリークラブのしっかりとした方向性はまだ出ておりません。したがって、3月になれば、どこのクラブもそうだと思いますが理事会が開催されるということで、その時に勝浦からの提案を理事会で検討し、後に教育委員会等、義務教育者である中学生を対象としているわけですから、どうしても教育委員会というものが必要になってまいります。教育委員会という点におきましては、実は私と高梨さん二人で出向いて行ってまいりました。こういう企画で、こうやりたいんだということをお話にいきました。その点では、高梨さんの取り計らいでスムーズにお会いすることができまして、お話もスムーズにできました。もう少し詳しいお話を聞いたら対応できることは対応しましょうよと、こういうお話を頂戴しているわけです。

今申しましたように、我々はそういう風に考えてやるのですが、実はここで何が関わってくるかと言いますと、相手があることであります。気仙沼ロータリークラブですが、こちらは震災があるから良いかなと思っても、気仙沼というのも大変広い地域だそうで、中学校と言っても勝浦のように3校だけではなく、もっとたくさんあるのだそうです。では震災遺児はどこに居るのかというと、全く方々に居るんだそうです。そうしますと、個人情報というものが関わり合ってきてしまって、思うようにいかないという事が現実にあるわけでございます。ちなみに、先日のNHKの「クローズアップ現代」、それにおきまして震災の話が出ておりましたが、やはり個人情報を公開するという事はなかなか大変な話であります。かと言って、気仙沼ロータリーの方といたしましても、個人情報が入ってこない事には、そういう呼びかけさえもできないよという状況になっていってしまいます。ゆえに、理事会が終了しましたら、教育委員会に行って話をしてくるんだということでもあります。ですから、まだ結論が出ておりませんので、我々が今すぐここで動くという状況にはありますけれども、ただ勝浦ロータリーというものを信頼していただきそこに100万円がきたであろうと、こう思っておりますので、できればその100万円を返すのではなくて、なんらかの形で使えたらなど、そういった事業展開をしていけたらという風に思っております。ですからまだ向こうからの結論が出ておりませんが、これからまたいろいろ話がある予定となっておりますので、その折りにまた皆さんの意見を頂戴したいなと思っております。



また先ほどのヒロ子さんのお話の件ですが、それもまたヒロ子さんのこれからいろいろお話合いますけれども、そういう点の最大の事をやって、地元の、例えば小学生・中学生に勝浦ロータリークラブとして出張して行ってやってあげるとか、という事で理解してもらおうとともに、みんな向こうの子ども達のことでも理解してくれよという訴え方をしながら、全部の地区の小学校・中学校を回るというのも良い計画じゃないかなと、そういう事も考えております。

武道大学もあるので、そういったところも大いに利用して1万人に達成し、また1千万というものを目指して、そして恵まれない人たちの公共機関等の楽器を贈呈すると、これは非常に素晴らしいことだと思いますので、それにはロータリーも一生懸命力を出していきたいなと思っております。いろんな角度があると思いますが、検討していただけたらなと思っております。



関会長も漆原幹事も、週報作成に際し、いつも原稿をいただけるので、非常に助かっております！

この場をお借りし、感謝申し上げます。
渡邊 昌俊

● 3月4日に開催されたゴミ拾い参加者



出席報告 3月2日(金)

出席委員会 手塚 明宏 委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
37名	24名	6名	7名	81.08%

欠席：浅野玄航、内田秀実、小林悠基、斎藤義典、林重利、吉野裕子、渡辺保